

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	031200	TEL	2998-9158
事業コード	植木花き生産組合補助金	市民経済部	農政課			
031218		グループ	振興			
補助開始年度		平成	6	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

②事業の内容	根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	1節 農業	中柱	2 経営基盤の強化	小柱	(3) 農業団体との連携・支援
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	補助開始の背景			所沢市の植木・花きの安定的な生産と供給を維持するために、会員相互の連携と協調が必要なため生産組合に対する支援が必要であった。					
補助の目的			生産技術の向上並びに流通での円滑さ、農業経営の安定を図るとともに、地域農業の繁栄のため主産地的発展に寄与する。					団体への加盟数	
団体における実施事業の概要			植木生産技術の導入、イベントを通じての地産地消の推進や経営流通関係等に関する研究会、講習会、先進地視察等を行う。					48	単位 人

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		90	90	85	
	補助額決算 (見込み含む)		90	90		
	臨時職員賃金		人	人		
	正規職員人件費		0.50 人	4,600	0.50 人	4,697
	事業費合計		4,690	4,787		
	市民一人当たり(単位:円)		13.9	14.1		

④指	団体活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
		即売、共進会	開催回数	回	2	2	2		
	所沢市植木まつり	開催回数	回	1	1	1			
	成果分析	共進会参加率	参加人数÷組合員数	%	目標値	40	45		
					実績	40	40		
				%	達成率	100.0	88.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input type="checkbox"/> 自主性は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	団体活動の活発化	達成水準	共進会参加率を5%増やす。	時期	平成20年11月
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	景気の低迷や後継者不足等の問題により、現在植木部門においては特に厳しい状況となっている。しかし、農業祭や植木祭り、植木花き生産組合連合会等への参加を通じ、地産地消事業の重要性を訴えた組合活動の展開を進めてきている。さらに、他の農業団体との連携で補助金の有効利用を図るために、組合員の自主的な事業参加が行われるよう支援していく。						
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	農政課長 越阪部孝夫				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					